

2026 年度 第 1 回運用容量検討会 議事録

1.日 時：2026 年 5 月 13 日 10:10～11：30

2.場 所：Web 開催

3.出席者

菅原 宣孝	(代理出席) 北海道電力ネットワーク (株) 工務部次世代基幹ネットワークグループ主幹
掛田 勝宏	東北電力ネットワーク (株) 電力システム部給電グループ課長
中村 義和	東京電力パワーグリッド (株) 系統運用部系統運用計画グループマネージャー
大崎 聡志	中部電力パワーグリッド (株) 系統運用部系統技術グループ課長
清水 康広	北陸電力送配電 (株) 電力流通部系統運用・保護チーム統括課長
河口 健	関西電力送配電 (株) 系統運用部系統技術グループチーフマネージャー
首藤 隆徳	中国電力ネットワーク (株) 系統運用部系統技術グループマネージャー
大西 健介	四国電力送配電 (株) 系統運用部給電グループリーダー
江口 貴之	九州電力送配電 (株) 系統技術本部電力品質グループ長
下形 竜也	電源開発送変電ネットワーク (株) 変電・系統技術部系統技術グループリーダー

4.議 事

- (1) 連系線の運用容量算出における検討条件について (2027～2036 年度)
- (2) 2026 年度以降の検討課題について
- (3) 電圧上昇対策としての送電停止時における中地域交流ループ運用容量について
- (4) (検討課題) 中国四国間連系線の熱容量の適用期間細分化について

5.配布資料

- | | |
|------|---------------------------------------|
| 資料 1 | 連系線の運用容量算出における検討条件について (2027～2036 年度) |
| 資料 2 | 2026 年度以降の検討課題について |
| 資料 3 | 電圧上昇対策としての送電停止時における中地域交流ループ運用容量について |
| 資料 4 | (検討課題) 中国四国間連系線の熱容量の適用期間細分化について |

6.議事録

議題1：連系線の運用容量算出における検討条件について（2027～2036年度）

事務局から資料1について説明を行った。主な議論は以下のとおり。

〔主な議論〕○検討会 ●事務局

（資料1）連系線の運用容量算出における検討条件について（2027～2036年度）

・資料に対するご意見なし

議題2：2026年度以降の検討課題について

事務局から資料2について説明を行った。主な議論は以下のとおり。

〔主な議論〕○検討会 ●事務局

（資料2）2026年度以降の検討課題について

・資料に対するご意見なし

議題3：電圧上昇対策としての送電停止時における中地域交流ループ運用容量について

中部電力パワーグリッドから資料3について説明を行った。主な議論は以下のとおり。

〔主な議論〕○検討会 ●事務局

（資料3）

・資料に対するご意見なし

議題4：（検討課題）中国四国間連系線の熱容量の適用期間細分化について

事務局から資料4について説明を行った。主な議論は以下のとおり。

〔主な議論〕○検討会 ●事務局

（資料4）（検討課題）中国四国間連系線の熱容量の適用期間細分化について

・資料に対するご意見なし

これらの資料について、2026年5月の公表に向け、広域機関にて手続きを進める。

以 上